

会 議 録

会議の名称	平成28年度第1回飯塚市国民健康保険運営協議会
開催日時	平成28年7月22日 14:00～15:40
開催場所	飯塚市役所 2階 201・202会議室
出席委員	中村委員、奥野委員、竹下委員、松浦委員、田中委員、濱委員、勝田委員、江口委員、吉野委員、渡辺委員
欠席委員	藤井委員、西園委員、藤田委員
事務局職員	こども・健康部：森田 雪 医療保険課：井桁政則、原野正俊、佐藤幸代 野見山祐二、田原裕亮 税務課：千代田一敏、城戸信比古
会議内容	<p>1 開 会</p> <p>2 議 事</p> <p>(1) 会長、副会長の選出について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 会長 江口委員 ➤ 副会長 渡辺委員 <p>(2) 平成27年度国民健康保険特別会計決算見込みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 実質収支は約 229,461,000 円の黒字であるが、単年度収支では、68,476,000 円の赤字。単年度収支に国庫支出金などの次年度精算を加味した実質単年度収支は、約 336,000 円の黒字。 (1,000 円未満四捨五入) <p>(3) 平成28年度国民健康保険特別会計当初予算について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 一般被保険者に係る高額療養費について、前年度より 83,853,000 円の増の要因としては、平成27年度から高額な C 型肝炎新薬が保険適用されたことなどによるもの。 ➤ 国民健康保険税について、前年度より 57,806,000 円の減の要因としては、加入者数・被保険者数の減少と昨年度の軽減対象範囲拡大によるもの。

	<p>(4) 平成27年度特定健康診査等の実績見込について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 平成27年度の特定健康診査受診率は、平成28年5月31日現在の速報値で46.3%。後期高齢者支援金の拠出金には、加算・減算制度があり、県内でも高い受診率・指導率が評価され平成26年度後期高齢者支援金の減額対象となっている。 <p>(5) 残薬バッグ活用の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 残薬バッグを活用した取り組みとは、患者が飲み残している薬剤を残薬バッグに入れて薬局に持参することで、薬剤師が残薬の使用期限等を確認し、医師への照会、そして了解を得た上で、新たに調剤する薬剤の減量を行って、残薬を有効活用するというもの。 ➤ 本市において残薬バッグを作成し、特定保健指導対象者への指導を行う際に、保健師より利用方法等の説明を行い、残薬バッグを配布することを検討する。 <p>(6) その他（福岡県市町村国保広域化について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 平成30年度から国民健康保険の財政運営は都道府県が担い、市町村の主な役割は、地域住民と身近な関係にある中、被保険者証の発行など資格の管理や保険給付、都道府県が算定した標準保険料等を参考に、保険料率の決定、賦課・徴収、保健事業を行う。 <p>(7) その他（子ども医療費助成制度改正について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 平成28年10月1日から、通院医療費の助成対象を現在の「小学校第3学年修了前まで」から「小学校第6学年修了前まで」に拡大し、小学生の自己負担額を「600円/月」から「1,200円/月」に変更。 ➤ 併せて、入院医療費の助成対象を現在の「中学校第3学年修了前まで」から「18歳到達の年度末まで」に拡大。なお、入院に係る自己負担額は変更なし。 <p>3 閉 会</p>
会議資料	<p>平成28年度 第1回 飯塚市国民健康保険運営協議会資料</p> <p>資料1 平成27年度国民健康保険特別会計決算見込</p> <p>資料2 平成28年度国民健康保険特別会計当初予算</p> <p>資料3 平成27年度特定健康診査等の実績見込</p> <p>資料4 残薬バッグ活用の取り組みについて</p> <p>資料5 福岡県市町村国保広域化について</p> <p>資料6 子ども医療費助成制度改正について</p>
公開・非公開の別	<p>① 公開 2 一部公開 3 非公開</p> <p>(傍聴者 1人)</p>
その他	